

# 第37回 抗議デモ・学習会

## 11月10日(土)

- 抗議デモ 午後1:30烏山区民センターホール集合 1:50出発
- 学習会 午後2:30開会 烏山区民センターホール

講演 **「オウム集団の現況と、ひかりの輪」**  
 — その矛盾と欺瞞体質 —

オウム真理教元教祖麻原彰晃(本名松本智津夫)と、元信者死刑囚12名の死刑が、7月に執行された。後継団体アレフの動向、ひかりの輪の観察処分を巡る裁判の行方、その欺瞞に満ちた体質を解明する。

講師：**滝本太郎氏**(弁護士)



### 滝本太郎氏の略歴

〔略歴〕1957年、神奈川県生。弁護士。1989年11月、友人の坂本弁護士一家殺害事件を契機に、オウム真理教被害対策弁護団に入る。情報収集、山梨県上九一色村住民の代理人等をしてきたが、1993年7月から脱会カウンセリングを始める。それら活動と話し合いのために撮影した「空中浮揚」の写真が教祖ににらまれたからか、1994年5月運転する直前の自動車外部にサリンをかけられる。1995年6月、脱会者の集り「カナリヤの会」を組織し、その窓口。日本脱カルト協会会員、共著で「宗教トラブル110番」民事法研究会2015年増訂、「オウムをやめた私たち」カナリヤの会編、岩波書店 2000年、「異議あり!奇跡の詩人—ドーマン法、FCの真実」同時代社 2002年など。

主催：烏山地域オウム真理教対策住民協議会

後援：世田谷区



烏山地域  
オウム真理教対策  
住民協議会

### 皆さんの募金が住民協議会の活動を支えています。

• 上北沢さくらまつり	7,141円	• リサイクルバザー	10,380円
• 抗議デモ・学習会	12,337円	• 烏山下町まつり	8,815円
• 桐の会発表会	1,056円	• 千駄山ふれあいまつり	3,450円
• 夏休み親と子の映画会	1,000円	• 新樹苑盆踊り大会	24,797円
• からすやま夏まつり	20,251円	• 給田納涼盆踊り大会	15,756円
• お笑い夏まつり	20,210円	• 夏休み親子木工まつり	4,436円
• 親子夕涼み会	3,540円	• 烏山神社秋まつり	9,137円



**アレフ札幌白石施設、地域17の町会が協議し住民協議会設立**

オウム真理教後継団体アレフが、一昨年札幌白石区に国内最大級の施設を設立した事で、地域住民から不安の声が上がっていた。このたび近隣の町会が協議した結果、東白石地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会が設立された。アレフは以前より、札幌を信者獲得の重点地区にし、若者をターゲットに勧誘を進めていた。これまで約300名の信者の入会があったことも報道されていた。昨年烏山地域住民協議会、足立区入谷地域住民協議会の両団体が、白石区の施設の視察を行い、話し合いを進めていた。最近では施設への信者の出入りも多くなり、今後東白石地域住民協議会で話し合いを続けながら、具体的な活動へ踏み出す計画のようだ。

## 監視小屋だより

平成29年9月より30年9月迄

オウム真理教への監視活動は地域住民の皆さんの協力により、今日に至っています。

現在は39の団体(町会・自治会、小・中学校PTA、青少年地区委員会、商店会)の皆さんが年間のローテーションを組み監視活動を行い、信者達の動向を日誌に記録しています。

### 〈日誌より抜粋〉

- ・ 2F左端の部屋より男性が細長いダンボール箱を持ち建物の外へ出てきた。
- ・ 朝のニュースでアレフの信者の動きが活発になっているとの事。まだまだ新しく信者が入信している(数万円～10万円位の入信料が必要)20才前後の若者が東京拘置所の回りを歩いているとの事。
- ・ パトカーが来て公安の人と何人かの警察の人と話していた。
- ・ 上祐他男性2名女性1名が2階外廊下を移動、少し立ち話の後全員が南端の部屋に入室。
- ・ 人の出入りはありませんでした。上祐は在宅との事。
- ・ 椅子に座って監視していたら警察の方より、今日は特別な行事もなさそうだし、寒いし、近所の住民の方々の気持ちを察して小屋で監視をして下さいとの事でしたが、お天気も良く15分程小屋にいました。

- ・ 今日全員が研修に参加の為動きがない。
- ・ 成城警察署詰所横で監視しようとしたが係官より3階以上の住民が気にするので、なるべく監視小屋での活動をお願いしたいとの要望を受けた。
- ・ ピンクのTシャツの男性(おそらく上祐)がこちらの様子を2階から見ていた。
- ・ 暑いため小屋の中で活動しました。時々外へ出ましたが、特に動きがなく静かでした。
- ・ 色白の中年男性が廊下をうろうろして、右端の部屋に入る。数分出てきて廊下を5回行き来し、教義らしきものを見て暗記している様子に見えました。10分程で右端の部屋に入り出てこなかった。

烏山の施設には上祐を代表とするひかりの輪の信者数名が居住しています。ほとんど動きはない様子ですが、地方に出向いての布教活動は活発に行われています。今夏、麻原以下13名の刑が執行されました。今後オウム真理教アレフ・ひかりの輪がどのような行動に出るのか予測はできませんが、今まで以上にその動向を注視する事が必要となります。

今後も、地域住民の皆さんのご支援・ご協力をお願いします。

## 募金に思う! 寄稿

今年も夏のイベントが終わりました。神社の夏まつり、地域のイベントや盆踊り会場、そして子どもたちの集会など。住民協議会のメンバーは、それぞれ交替で募金に出かけました。オウム対策住民協議会を立ちあげて18年。地域の皆さんにはいろんな場での募金に心よく協力していただきました。お陰さまで活動が続けてこられました。東日本の大地震による津波、九州での水害、先日は熊本での大雨による被害と日本列島は悲しい現実に見舞われています。そ

んな中での私たちの募金活動に気持を寄せて下さる皆さんは今年も変わりなく応援して下さいました。安心して暮せる町づくり、地下鉄サリン事件のような事が二度と起きないように、監視の手をゆるめず、活動続けて行きたいと思っています。10月は、烏山区民センター文化祭(10月13・14日) 蘆花まつり(10月28日)の会場で募金やPR活動を行います。ぜひお立寄り下さい。お待ちしております。

## 住民協議会活動報告

9月18日(火) 実行委員会

9月23日(日)・24日(月) 烏山神社で秋まつりで募金活動

9月25日(火) 編集会議 協議会ニュース第179号初校正

10月1日(月) 編集会議 協議会ニュース第179号再校正

10月3日(水) 事務局会議

10月10日(火) 協議会ニュース第179号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。